『猿福村』

原案：愛知シュタイナー学園５期生
台本作成：河口琢磨

登場人物
一条・・・おじいさん
モナ・・・猿のモナ
一条・・・おばあさん
桐生・・・母親

場所
猿が福をもたらす村『猿福村（えんぷくむら）』
その猿福村の桐生家の庭と一条家の縁側

１）桐生家の縁側

　朝。桐生が庭で洗濯物を干している。時々ため息がもれる。

桐生　なんで、あんなことに・・・

　かなり落ち込んでいる様子の桐生。
　そこへ一条がやってくる。

一条　聞いたわ。大丈夫か？
桐生　ああ、一条のおばあちゃん、おはようございます。
一条　おはよう。子どもは学校行ったんか？
桐生　まあ、なんとか。
一条　昨日か？大変やったらしいなぁ。
桐生　はい。一条さんのお孫さんに大怪我をさせちゃって。
一条　一条のじいいさんの孫かぁ。どえらい可愛がっとうからなぁ。
桐生　「この村から出て行け」って言われて。
一条　それはえらいことやわ。あんたら引っ越してきて、どんだけ経つ？
桐生　３か月ぐらいです。
一条　そうやろう。やっと村にも慣れてきたところや。村のもんも、あんたら家族のことを悪くいうやつはおらんし、みんな喜んでるわ。よう越してきてくれたって。
桐生　ありがとうございます。

一条　そやのになぁ、一条のじいさんが怒ったなると、えらいことや。一条のじいさんが、一番あんたら家族のこと喜んでたからなぁ。一条のじいさん、ようしてくれてたやろう？
桐生　ええ、もう本当にそれは。
一条　そうやろう。そやから余計に困ったなぁ。それはどえらい事してしもたな。
桐生　どうしたらいいんですか？もう私には、どうしたらいいのか。
一条　そうやなぁ。

少しの間

一条　あんた、この村の名前の由来、知ってるか？
桐生　え？「猿福村」（えんぷくむら）のですか？
一条　由来。
桐生　いえ、詳しくは。
一条　「猿が福をもたらす村」いうてな、昔から猿を大事にしてきてるんや。
桐生　だから「猿福村」（えんぷくむら）
一条　そうや。それでな、もうじき祭りがあるんやけど知ってるか？
桐生　祭り？
一条　そう。お猿様にご馳走を振る舞う祭りなんやけどな、いうても野生の猿やから、人間が思ってるようにはならんのや。でも、一条のじいさんだけはお猿様と心通じとるんか、なついててな。その内、一条のじいさんも、お猿様に名前つけて、「モナ」って呼んでるわ。
桐生　モナ。
一条　そう。モナちゃん、モナちゃんいうて、孫と同じぐらい可愛がってるんや。
桐生　そのモナちゃんって、よくあの、そこの大木の近くにやってくるお猿さんですか？
一条　そうやそうや。祭りもその大木のところでするんや。そういえば、あんた、子どもがお猿と遊んでることがあるって言うてなかったか？
桐生　ええ、引っ越してきてから、ずっと遊んでます。遊んでるっていうか、餌を上げたり。引っ越してきた最初は、危ないからやめなさいって言ってたんですけど。
一条　そうか。それは凄いことや。モナに懐く人間は、この村では一条のじいさんしかおらんと思ってたんやけど、そうか、あんたの子どもも心通じとるんか。それは、いいことや。一条のじいさんも喜ぶわ。
桐生　そうなんですね、よかった。
一条　村にとっても、いいことや。
桐生　村にとっても？

一条　そら、猿が福をもたらすんやから、その猿と心通じる人間がいてるのは、村にも有り難い話や。もっと猿と遊んで、仲良くなったら、一条のじいさんも許してくれるに違いないわ。モナと仲良くなり。
桐生　なります。もっと子どもにモナと遊ばせます。
一条　この庭に、モナが休める小屋でも作って、一条のじいさんの機嫌がよくなるようお願いしたらいいわ。
桐生　分かりました。やってみます。ああ、今凄くホッとしてます。一条のおばあちゃん、有り難うございます。
一条　ええんよ、ええんよ。もうあんたら家族も村の一員なんやから、村全体が家族みたいなもんなんやから、助けて当然。
桐生　まずは小屋作り、すぐにでも始めます。
一条　それがええわ。なんでもすぐにやるのがええ。考えてたらいかん。行動あるのみや。
桐生　頑張ります。
一条　うん、頑張り。（と去って行く）

　桐生、大木の方に視線をやる。

桐生　ようし！

　桐生、家の方へ去る。

２）一条の家の縁側

　一条が庭の手入れをしている。

一条　ああ、なんであんなこと・・・

　そこへ一条がやってくる。まだ姿は見えない。

一条　（遠くから）こんにちは。
一条　おお、一条のばあさんか。
一条　ええ天気なってよかったなぁ。
一条　ああ、そうやな。
一条　元気ないな。
一条　まあ、座りや。

　一条と一条、縁側に座る。

一条　聞いたか。

一条　そら聞くわ。こんな狭い村や、噂はすぐ回るわ。孫は大丈夫か？
一条　お陰さんで孫は大した事はないんや。
一条　それはよかったなぁ。
一条　けどな、桐生さんには酷いこというてしもた思てるんや。
一条　あんたの事は、よく分かってる。そういう優しい所がある人や。
一条　ありがとう。でも、あの時は怒りがおさまらんかった。
一条　そら、一条のじいさんが、怒るぐらいのことしたんや、そういう事なんや。それは仕方のないことや。
一条　その時はな、そう思ったから勢いで「この村から出て行け」って言うてしもた。
一条　勢いで。
一条　ああ、あれは勢いやわ。
一条　そうか、勢いか。
一条　なんや？
一条　いや、わしは昔から一条のじいさんは、人の事をよく見てる思うてるんや。人の事をよく分かってるいうか、見抜くいうか。
一条　そうか？
一条　そうや。村のみんながあんたを頼るのも、才能いうんか？そういうところに惚れてるからや思うわ。
一条　なんや気分ええな。
一条　そやから、「村を出て行け」っていうのは、その才能から出てきたコトバでもあるんやないかな思うてな。
一条　そうなんか？
一条　そうやろ。才能なんて自分では気付かんもんや。だから、その才能から出てきたコトバは、あんたの本心や。「村から出て行け」は本心なんや。
一条　いや、わしの本心は村から出て行かれるのは困る。折角、都会からこんな田舎に来てくれたんや。歓迎したいと思うてる。
一条　都会からなぁ。
一条　なんや？
一条　いや、なんでもない。
一条　なんか気になる感じや。
一条　いやいや、そんな気にする事でもないわ。どちらかというと気にせん方がええわ。
一条　そう言われたら、どんどん気になってくるわ。
一条　はあ・・・（と遠く大木の方を見る）
一条　そんな溜息ついて、遠く見なや。気になるやろ。

　一条、一条を見て、また大木の方へ視線をやり大きな溜息

一条　はあ・・・。
一条　どえらい大きい溜息やな。なんや、何か言いたいんやろ。言いたい事はハッキリと言え。
一条　言わん方がええこともある。
一条　気になるやろ、言え。聞くから。
一条　聞かん方がええこともある。
一条　気になるから聞かせえ！
一条　そこまで言うなら。
一条　おう、話せ。
一条　だけど、わしは言いたなかったって事だけは覚えといてや。話を聞いて、わしを怒ったり、わしに「村を出て行け」とかいうのは、違うからな。
一条　分かった、分かったから、早く話せ。

　少しの間

一条　あんたが大事にしてるもんって何や？
一条　大事にしてるもん？孫や。
一条　それだけか？
一条　それだけかって他にあるか？
一条　そうか。ないなら、わしの思い違いや。
一条　待て待て。
一条　じゃあ、他に大事なもんあるんか？
一条　モナか？
一条　そうや。あんたの孫と同じだけ可愛がってるもなや。
一条　モナがどうかしたんか？
一条　最近どうや？顔出すか？
一条　そういえば、あんまり見んな。
一条　やっぱりそうか。
一条　やっぱりってなんや？
一条　桐生の息子がなぁ、引っ越してきた時から、なんか、餌やったりして仲良くなってるんや。
一条　桐生の息子が？
一条　まあ、息子には悪気はないと思うんやけど、餌をやれいうてるのは、母親や。
一条　なんでや？
一条　よく考えてみ。こんな何もない村に都会から何しに引っ越してくるんや？
一条　モナか。

一条　そうや。あの親子はお猿様を自分たちのモノにしようとしてるんや。
一条　なんやて？
一条　朝、桐生の家の前を通ったら、なんか小屋が建ってたわ。
一条　小屋が？その小屋にモナを住まわせる気か？
一条　そうやろ。
一条　住まわせて、幸福を自分だけのモノにしようとしてるんか。
一条　やっぱりあんたは人の事をよく分かってる。あんたは見抜いてたんや。桐生の本当の姿を。
一条　許せんな。わしの孫を傷付けただけやなく、村の神様でもあるお猿様を。
一条　多分、それだけやないと思うてる。
一条　まだ何かあるんか？
一条　この村で、そのお猿様と通じてたのは、あんただけや。
一条　桐生は、この村のわしの居場所を奪おうとしてるんか？
一条　そうや。そうとしか考えられん。
一条　そんな、たわけた話が・・・
一条　じゃあ、他に理由があるか？孫を傷付けて、お猿様を小屋に住まわせる理由が。

　少しの間

一条　教えてくれ。わしは、どうしたらいいんや？
一条　桐生の事は任せとき。あんたはお猿様を、いや、あんたの大事なモナを、もう一度、こっちに振り向かせて、心通じさせるんや。
一条　そうか。でも、いうても野生の猿や、上手くいくかどうか。
一条　自信なくしなや。あんたなら出来る。
一条　そうやな。
一条　でもな、もし出来んかったら・・・

　少しの間

一条　出来んかったら、なんや。
一条　自分の手で始末し。
一条　なんでそんなこと！
一条　桐生がこの村出て行っても、また都会から誰か来てみ、奪われるで。全部奪われるんやで。

　一条、大きく深呼吸

一条　分かった。

少しの間

一条　そろそろ行くわ。
一条　ああ、お茶も出さんで悪かったな。
一条　気にせんで、ええわ。自分の事だけ考えや。

一条、家に去る。
一条、ニヤッと笑って、去る。

暗転